

2015. 8. 7

第5回「Patient Advocacy Leadership Award (PAL アワード) プログラム」開催のお知らせ ～全世界におけるライソゾーム病コミュニティを支援する画期的な共同プログラムを表彰～

2015. 8. 7

本資料は、ジェンザイム(アメリカ、マサチューセッツ州)が 2015 年 7 月 29 日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集したものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。原文(英文)は、ジェンザイム社のサイト(www.genzyme.com)からご覧いただくことができます。

2015 年 7 月 29 日(米国時間) ジェンザイム社プレスリリース

サノフィ・グループ(サノフィ (EURONEXT:SAN および NYSE:SNY))の一員であるジェンザイムは、ライソゾーム病(LSD)の患者さんコミュニティを支援している非営利団体を対象とした第5回「Patient Advocacy Leadership Award (PAL アワード) プログラム」を開催いたします。この PAL アワードプログラムは、疾患啓発や患者さん支援のための新しい画期的な共同プロジェクトを促進し、支援することを目的としており、全世界におけるライソゾーム病患者団体に応募いただくことができます。

このプログラムでは、LSD コミュニティを支援する新しいプログラムへの資金を必要としている患者団体に対して助成金が授与されます。5 年目となる 2015 年度では、より広い LSD コミュニティを支援するために、国や地域、疾患の垣根を越えた 2 つ以上の団体による共同プロジェクトに特にフォーカスします。知識とベストプラクティスの共有を通じて、LSD コミュニティをつなぐプログラムを支援し、紹介することが目的です。また、本年度は初めての試みとして、母国語が英語以外の患者団体に対して翻訳サービスが提供されます。応募書類は本日から 2015 年 9 月 30 日まで受け付けし、外部審査委員会の審査を経て受賞者を決定します。本年度はプログラムを通して合計 5 万米ドルの助成金が授与されます。

ジェンザイム 先天性稀少疾患事業部門長の Richard Peters, M.D., Ph.D. は、「患者団体は患者さんが必要とするケアへのアクセスをサポートする重要な役割をつとめ、世界中の患者さんやその家族に対して支援を行っています。したがって、患者団体の活動を支援することは患者さんのケアを最大限に向上し、疾患の認知度向上を図るために極めて重要です。」「写真の巡回展示やビデオ制作、デジタル技術の応用や育成プログラムまで、これまでの助成金受賞団体は、プログラムへの応募を通して LSD 患者さんの生活を改善するための創造性や強さ、情熱を示してくださいました。このような素晴らしい努力に対して今年も支援できることを期待しております」と述べています。

ジェンザイムは 2011 年以降、40 万米ドルを超える助成金が世界中の 37 の患者団体に授与し、疾患認知向上活動、コミュニティの形成、ガバナンス向上活動を支援しています。ジェンザイムの PAL アワードプログラムについての詳細や助成金応募方法については www.genzymeadvocacyawards.com (英語のみ)をご覧ください。

ライソゾーム病 (LSD) について

ライソゾーム病は、ライソゾーム内で機能する酵素の働きがなかったり、低くなったりしているため、分解されるべき物質が細胞内に溜まる病気です。このため、細胞がうまく機能しなくなり、体のさまざまな部分に症状が現れます。ライソゾーム病の例としては、ゴーシェ病、ファブリー病、ポンペ病、ムコ多糖症 (MPS)、ニーマン・ピック病などがあります。詳しくはライソゾーム病の疾患サイト(日本語)をご覧ください：www.lysolife.jp

ジェンザイムについて

ジェンザイムは、30年以上にわたり、希少消耗性疾患を有する患者さんの生活に変化をもたらす治療法の開発および供給におけるパイオニア的存在です。ジェンザイムは、希少疾患および多発性硬化症に焦点を置き、患者さんおよびその家族の生活をよくすることを目標とし、この目標を日々の指針および励みとしています。2011年からはサノフィ・グループの一員となり、世界トップ製薬会社の規模と資源を活かし、共に患者さんの生活の質の向上に取り組んでいます。

日本においては、「ひとつでも多くの笑顔のために、希少疾患に向き合うみなさまへ新たな希望を届けつづけます」というミッションのもと、海外バイオ企業の日本法人としては初めて、他社と提携することなく自社単独で医療用医薬品の開発・販売に成功しました。現在、希少疾患であるライソゾーム病のうち、「ゴーシェ病」「ファブリー病」「ムコ多糖症Ⅰ型」「ムコ多糖症Ⅱ型」「糖原病Ⅱ型(ポンペ病)」の5つの治療薬と内分泌領域の1製品、併せて6つの希少疾病用医薬品を販売しています。詳細は、<http://www.genzyme.co.jp> をご参照ください。

サノフィについて

サノフィは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。サノフィはパリ (EURONEXT: SAN) およびニューヨーク (NYSE: SNY) に上場しています。

サノフィの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減方針とその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの2014年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMF

に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。